

事例 造林コスト低減に向けた低密度植栽検証の取組

九州森林管理局では、造林コストの低減に向けて、造林時の面積当たりの植栽本数を従来に比べて減らす低密度植栽についての検証を行っています。

1,500本/haの低密度植栽後、10年を経過したスギ及びヒノキの生長状況を調査した結果、従来の密度で植栽したものと同程度の生長が確認され、平成27年度は、これらの成果をとりまとめ、学会や研究報告会での報告を行いました。今後は、形質や蓄積量について継続した調査・検証を行っていくこととしています。

(九州森林管理局 森林技術・支援センター)



場 所：宮崎県児湯郡木城町 こゆぐん きじょうちょう はまぐち 浜口国有林ほか

説 明：写真は、低密度で植栽された造林木の植栽間隔を示した様子（左）と、低密度で植栽されたスギの植栽後10年目の様子（右）です。